

3. 学校生活について

3-1

大学内の留学生関係者など

1. 留学生担当教員

福岡教育大学には、3名の留学生担当教員がいます。

留学生対象の授業や、ホームルームを担当します。分からないことがあれば、何でも質問してください。

留学生担当教員の研究室の場所は40ページに記載しています。

飯田 史也 先生

研究分野：国際教育交流史

研究室：0940-35-1510（教育・心理教棟 1F）

E-mail: iidafu@fukuoka-edu.ac.jp



中村 俊哉 先生

研究分野：多文化間心理学

研究室：0940-35-1491（教育・心理教棟 1F）

E-mail: nakamush@fukuoka-edu.ac.jp



坪内 佐智世 先生

研究分野：言語学

研究室：0940-35-1325（人文社会教棟）

E-mail: sachio@fukuoka-edu.ac.jp



2. 指導教員

福岡教育大学に留学している間は、必ず指導教員がつかます（科目等履修生は除く）。履修する授業

やこれからの研究について相談してください。

また、学部生・大学院生は、それぞれの選修・専攻・コースのオリエンテーションに参加してください。

3. 連携推進課

連携推進課は、大学関係のいろいろな手続きをるところです。留学生活について、様々な相談をすることもできます。連携推進課の場所は40ページに記載しています。

窓口の時間は、午前8時30分～12時15分、午後1時～午後5時 です。

TEL : 0940-35-1247 E-mail : kokusai@fukuoka-edu.ac.jp

4. 学生チューター

福岡教育大学では、学部生、大学院生、研究生については入学後3ヶ月間（4～6月/10～12月）、協定留学生、日本語・日本文化研修留学生、教員研修留学生については入学後3ヶ月間（4～6月/10～12月）及び研究発表会（前期は8月・後期は2月）前の3ヶ月間（6～8月/12～2月）であれば、学生チューターをつけることができます。

学生チューターは、日本での生活に必要な最初の手続きや授業の取り方、日本語の勉強などの手助けをしてくれます。週に1度以上は会って、なんでも相談できる関係を作りましょう。

◆学生チューターとあまり会うことができない場合や、仲良く話すことができない場合など、もしも何か問題があれば、連携推進課、指導教員、留学生担当教員に相談してください。

◆学生チューターと会う時間を決めて、たとえば次のように過ごします。

日本語の練習

日本語の練習のために、毎回テーマを決めて、学生チューターに話をします。話をするために必要な単語、表現などの準備をします。その話についての学生チューターからの質問に答えます。

授業・研究のために

授業を受けてわからなかった日本語を、学生チューターに尋ねます。また、専門が同じ場合、専門に関する本を読んで、学生チューターに質問したり、ディスカッションしたりします。

大学には国際交流サークル「KIZUNA」という団体があります。留学生たちも多数、所属しています。「KIZUNA」のメンバーも留学生に協力してくれますので、気軽に声をかけてみてください。



3-2

留学生対象授業

1. 前期授業 (4月～8月)

	月 (げつ)	火 (か)	水 (すい)	木 (もく)	金 (きん)
1	日本語 1 (読む・書く) 【坪内】		比較教育文化論 A 【飯田・中村】	日本語 1 (大学生の聴解) 【増田】	
2	日本語 1 (コミュ ニケーション) 【汪】	日本の教育制度 A 【飯田】	異文化交流の 心理学 【中村】	日本語 1 (聴く・話す) 【青木】	日本事情 A 【坪内】
ひる やす 昼 休 み					
3	日本語 (総合) A 【青木】 日本語補講 <初級 2> (平田)	ホームルーム 【留学生担当教員】		日本語補講 <初中級> (井料)	日本語補講 <初級 1> (渡辺)
4		日本語補講 <個別指導> (増田)		日本語補講 <漢字> (井料)	

1 時限目 (いちじげんめ)	8 : 40～10 : 10
2 時限目 (にじげんめ)	10 : 25～11 : 55
3 時限目 (さんじげんめ)	12 : 45～14 : 15
4 時限目 (よじげんめ)	14 : 30～16 : 00
5 時限目 (ごじげんめ)	16 : 15～17 : 45

学期の途中からの受講はできません。

必ず指定された日時までに17ページ
の「1週間の授業」を提出すること。

2. 後期授業 (10月～2月) //

	月 (げつ)	火 (か)	水 (すい)	木 (もく)	金 (きん)
1	にほんご 日本語2 (読む・書く) 【坪内】		にほんじじょう 日本事情B 【坪内】	にほんご 日本語2 (大学生の聴解) 【増田】	にほん きょういくせいど 日本の教育制度B 【飯田】
2	にほんご 日本語2 (コミュ ニケーション) 【汪】	たぶんかかんしんりがく 多文化間心理学 【中村】	ひかくきょういくぶんかるん 比較教育文化論B 【飯田・中村】	にほんご 日本語2 (聴く・話す) 【青木】	
ひる やす 昼 休 み					
3	にほんご そうごう 日本語(総合)B 【坪内】 <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px;">にほんご ほんごう 日本語補講 <初級2> ひらた (平田)</div>	ホームルーム 【留学生担当教員】		にほんご ほんごう 日本語補講 <初中級> (井料)	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px;">にほんご ほんごう 日本語補講 <初級1> わたなべ (渡辺)</div>
4		にほんご ほんごう 日本語補講 <個別指導> 【増田】		にほんご ほんごう 日本語補講 <漢字> (井料)	

1時限目 (いちじげんめ)	8:40～10:10
2時限目 (にじげんめ)	10:25～11:55
3時限目 (さんじげんめ)	12:45～14:15
4時限目 (よじげんめ)	14:30～16:00
5時限目 (ごじげんめ)	16:15～17:45

がっ き とちゆう じゅごう
学期の途中からの受講はできません。

かなら してい にちじ
必ず指定された日時までに17ページ
の「1週間の授業」を提出すること。



がつき はじ にほんご おこな げんそくぜんいんかなら う
 学期の始めにオリエンテーションと日本語プレテストを行いますので、原則全員必ず受けてくださ
 い。日本語プレテストの成績の変化は、記録されます。

せいせき う じゅぎょう すいしやうじゅぎやう りやうがくせいほんにん し どうきやういん し
 成績により、受けたほうがよい授業（推奨授業）を留学生本人と指導教員にお知らせします。教員
 はな あ う じゅぎやう き りやうがくせいたんとうきやういん しやうかん じゅぎやう ていしつ
 と話し合っ受ける授業を決め、留学生担当教員に「1週間の授業」（17ページ）を提出してくださ
 い。

● 授業の内容

<日本語>

授業科目	開講期	曜日・時間	教員	内容
日本語 1 (読む・書く)	前期	月 1	坪内	「自分のレベルよりも簡単」な本を、「辞書を使わずに」 「楽しみながら」たくさん読む授業です。朗読を実際に CDで聞きながら読める本もあります。要約や書評を書 く練習もします。単なる「読書」の時間ではないので、 「必ず、簡単なレベルから」読みます。簡単な日本語を どんどん読むことで、知らないうちに少しずつ難しい 文章も読めるようになります。何よりも、自然な日本 語が書けるようになります。
日本語 2 (読む・書く)	後期			
日本語 1 (大学生の聴解)	前期	木 1	増田	<聴解> テキストはありません。 ニュースを中心に、聞き取りを行います。全体の内容を 把握したり、一つ一つの言葉を書き取ったりすること で、総合的な聴解の力を身につけることを目指します。
日本語 2 (大学生の聴解)	後期			
日本語 1 (聴く・話す)	前期	木 2	青木	教材は授業で配布します。 <話す> 「アンケート調査→インタビュー活動」「スピーチ」「ロー ルプレイ」を通して、話す力を育てます。 <聴く> いろいろな聴解（ニュース、講義、講演、会話、ドラマ 等）に慣れ、自分に必要な情報を聞き取り、ものごとの いちばんだいじ ほうじょう のうりよく ようせい 一番大事なところをつかんでいく能力を養成します。
日本語 2 (聴く・話す)	後期			

授業科目	開講期	曜日・時限	教員	内容
日本語1 (コミュニケーション)	前期	げつ 月2	おう 汪	<p>< 会話 ></p> <p>テキストは使いません。資料は、授業で配布します。日常生活や大学生活、職場などいろいろな場面を設定し、考えていること、伝えたいことを正しい表現を用いて、相手と上手く受け答え (キャッチボール) ができるよう、コミュニケーションの技を学ぶ授業です。</p>
日本語2 (コミュニケーション)	後期			
日本語 (総合) A	前期	げつ 月3	あおき 青木	<p>このクラスは、書き言葉と話し言葉の違いを確認したり、相手や場面に応じて表現を使い分ける練習をします。また、視聴覚情報を正確に理解し、適切な表現を使って説明する練習や、説明文と意見文の違いを明確にし、書き分ける練習を行います。</p>
日本語 (総合) B	後期	げつ 月3	つぼうち 坪内	<p>テキストは使いません。</p> <p>文体の書き分け、会話表現、様々な語彙や慣用表現など、日本語に関するすべての知識を総合的に駆使して、自分たちで“小説”を書きます。</p>

<日本の教育、文化、社会>

授業科目	開講期	曜日・時限	教員	内容
日本事情 A	前期	きん 金2	つぼうち 坪内	<p>テキストは使いません。日本の学生たちと話し合います。また、様々な日本の文化や社会について知るために、学外に見学に出かけることもあります。日本の文化や社会について知ると同時に、自分自身の文化や社会についても理解を深めることをめざします。</p>
日本事情 B	後期	すい 水1		
異文化交流の心理学	前期	すい 水2	なかむら 中村	<p>日本の学生と留学生が合同で受ける授業で、毎回いろいろなテーマ (文化、考え方の違い) について小グループに分かれてディスカッションを深めます。</p>
多文化間心理学	後期	か 火2		



授業科目	開講期	曜日・時限	教員	内容
比較教育文化論 A	前期	水 1	飯田 ・ 中村	飯田先生と中村先生が2週間ごとに交替で授業をします。 ◎飯田：日本の教育のバックボーンとしての文化的背景を、制度以外の側面から考えていきます。 ◎中村：日本の社会についての常識問題を解きながら知識を増やし、異文化ショックや異文化トラブルの先例を学び、さらに皆さんの母国についての記事を紹介することで、母国について説明する力を養います。
比較教育文化論 B	後期	水 2		
日本の教育制度 A	前期	火 2	飯田	現代日本の教育制度の概要を、学校制度、教育行政制度、教科書、入学試験等の事例から学んでいきます。
日本の教育制度 B	後期	金 1		日本において、どのような学術が海外から移入されてきたのか、その経緯を古代からの一般的な歴史事項の内容も含めながら歴史的に考察します。

<日本語補講> (日本語補講は、単位は出ませんが、「受講証明書」が出ます。)

授業科目	開講期	曜日・時限	教員	内容
初級 1	前期 ・ 後期	金 3, 4	わたなべ 渡辺	テキスト『SITUATIONALFUNCTIONALJAPANESEvol.1,2』 (著・筑波ランゲージグループ、凡人社) この授業は、3時限目と4時限目の2時間続けて行われます。
初級 2	前期 ・ 後期	げつ 月 3, 4	ひらた 平田	テキスト『SITUATIONALFUNCTIONALJAPANESEvol.3』 (著・筑波ランゲージグループ、凡人社) この授業は、3時限目と4時限目の2時間続けて行われます。
初級 3	前期 ・ 後期	もく 木 3	いりょう 井料	教材は、授業で配布します。 日常生活、また、大学生生活のいろいろな場面で、正しい表現を正しい場面で使えるようになることが目的です。

授業科目	開講期	曜日・時限	教員	内容
漢字	前期 ・ 後期	木 4	井料	テキスト『BASIC KANJI BOOK vol.2』 (著・加納千恵子ほか、凡人社) 「日本の漢字」を覚えるために、中国や韓国の学生も、 ぜひ受けてください。
個別指導	前期 ・ 後期	火 4	増田	テキストはありません。 初級クラスがむずかしいひと、上級クラスでものたり ないひと、個人的に質問ができる時間です。レポー トや論文を書くときにわからないことなども質問でき ます。また、発表の準備をすることもできます。

3. 日本理解特別プログラム

日本の文化や教育制度などについて、体験的に学ぶことを目的に「日本理解特別プログラム」を行っています。各学期ごとに、留学生の体験してみたいことやおすすめの日本文化体験を行います。

例えば、地域の歴史や文化を体験するために、地域の伝統工芸を作ったり、地域の方々と一緒に日本文化体験（もちつき会、茶道体験など）や留学生の文化を教える（留学生料理教室など）といったことをしたり、地域の学校に行き行って留学生が特別授業をしたりすることもあります。また、福岡県以外の文化を学びに研修旅行に行くこともあります（例：長崎、東京、佐賀）。

留学生達が自分自身で企画を提案し、個人では体験できないことや他の留学生とシェアしたい体験（日本人との交流企画も可）を自由に考え、各学期にどのようなことを行うか考えます。

内容によっては、日本語でプレゼンテーションを作成し、感想レポートを書くこともあります。この体験は、留学期間の最後に行う留学生研究発表会（コース必修（20ページ））にの準備としても役立つものです。



ホームルームの様子

4. ホームルーム

毎月第2、第4火曜日の第3時限目（12時45分～14時15分）にホームルームを行います。留学生は誰でも参加



できます。日本語日本文化研修留学生、協定留学生は、必須です。必ず毎回出席してください。教員
研修留学生は、必須ではありませんが、できるだけ参加することをお勧めします。大切な連絡もあり
ますし、大学や自宅での生活で困っていることなどについても話合います。

また、それぞれが進めている研究の状況についても報告します。ほかの留学生達と知り合うことで、
日常生活や研究について役立つ情報が共有できます。日本語の上達にもつながります。

5. 授業内容を確認したいとき

授業の内容は「福岡教育大学ホームページ」の「シラバス」で確認できます。

(http://syllabus.fukuoka-edu.ac.jp/ext_syllabus)

6. 1週間の授業

オリエンテーション時に配布する「1週間の授業」という用紙に自分の受ける授業を記入し、指導
教員の印鑑をもらって1枚コピーします。

- 1枚：留学生担当教員、
- 1枚：指導教員に提出

(例) 前期ver.

1週間の授業 ○○○○年度前期

氏名 _____

所属 _____ 指導教員 _____

日	月	火	水	木	金
1	日本語1(読む・書く) 【坪内】		比較教育文化論A 【飯田・中村】	日本語1(次学生の聴 解) 【増田】	
2	日本語1(コミュニケーション) 【注】	日本の教育制度A【飯 田】	異文化交流の心理学 【中村】	日本語1(聴く・話す) 【高田】	日本語1(書く・読む) 【坪内】
3	日本語(総合)A【青 木】 日本語補講<初級2 >【幸田】	ホームルーム 【飯田・中村・坪内】		日本語補講<初・中級 >【井科】	日本語補講<初級1 >【渡辺】
4	日本語補講<初級2 >【甲田】	日本語補講<個別指 導>【増田】		日本語補講<漢字> 【井科】	日本語補講<初級1 >【渡辺】
5					

集中講義 (例) ○月ごろ 集中講義「授業タイトル」(○○先生)を受講する。

【注意】
この用紙は、留学生担当教員が留学生の学習時間を把握し修学支援するためのものです。指導教員と話し合っ
て、実際に参加する授業名と教員名を記入してください。日本語補講や指導教員やチューターの個別の指導の
時間も記入してください。(指導教員はこの用紙のコピーを保管するようにお願いします。)

提出 締切日： 4月17日(水)午後5:00までに連携推進課へ提出
※履修変更したい場合は、授業担当教員、指導教員の許可をもらった後、4月25日(水)までに連携推進課へ

日本語・日本語補講は 赤色を 必ず受講してください(必修)
灰色のうら つ以上受講してください(選択)

7. 留学生別、「必須」「選択」「推奨」「不可」項目一覧

	せい き せい 正規生 がくぶ 学部・ だいがくいん 大学院	きょういんけんしゅう 教員研修 りゅうがくせい 留学生	こくひ 国費 けんきゅうせい 研究生	にほんご 日本語 にほんぶんか 日本文化 けんしゅうりゅうがくせい 研修留学生	きょうてい 協定 りゅうがくせい 留学生	しひ 私費 けんきゅうせい 研究生	かもくとう 科目等 りしゅうせい 履修生
しんにゅうりゅうがくせい 新入留学生 オリエンテーション	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須
	しんにゅうがつき さんか ひつす 新入学期の参加が必須						
にほんご 日本語プレテスト	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須
にほんりかいとくべつ 日本理解特別 プログラム	せんたく 選択	せんたく 選択	せんたく 選択	ひつす 必須	ひつす 必須	せんたく 選択	せんたく 選択
りゅうがくせい 留学生ホームルーム	せんたく 選択	すいしょう 推奨	すいしょう 推奨	ひつす 必須	ひつす 必須	せんたく 選択	せんたく 選択
けんきゅうはつひょうかい 研究発表会での発表	ふか 不可	せんたく 選択	せんたく 選択	ひつす 必須	ひつす 必須	ふか 不可	ふか 不可
こくみんけんこうほけん 国民健康保険への加入	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須	ひつす 必須

- ひつす 必須** … かならず受講・参加・加入しなければなりません。
- せんたく 選択** … 受講・参加は任意（どちらでもよい）です。指導教員と相談して決めてください。
- すいしょう 推奨** … 参加は任意（どちらでもよい）ですが、参加することが望ましいです。
- ふか 不可** … 発表することはできません。



8. 授業を受ける上での注意点

成績・評価

日本の大学の成績評価は、学期末試験やレポートなどの成績と、日頃の受講態度、出席状況などによって総合的に判断されます。遅刻や欠席や私語などがあると、試験で良い成績をとっても、低い成績評価しかつきません。

授業中に携帯電話での会話などのために教室を出ることは、日本の大学では許されません。授業中に体調が悪くなった場合は、その授業の担当教員に報告してから退出してください。

遅刻と欠席

数回の「遅刻」は、1回の「欠席」として扱われることがあります。授業によって異なりますが、履修したことが認められるためには、多くの場合、70%以上の出席が必要です。

● やむをえない理由で授業を欠席する場合は、事前または事後にその授業の担当教員に欠席理由を報告してください。適正な理由ならば「欠席」にはならないことがあります。

● 授業を休んで「学校見学」などに出かけるときには、欠席する授業の担当教員に「欠席届」を提出してください。欠席届の用紙は、留学生担当教員のところにあります。

● JRの電車や西鉄バスが事故などで遅れて授業に遅刻する場合には、電車が到着したJR教育大前駅の窓口で、あるいは、バスの運転手さんから直接「遅延証明書」をもらい、それを授業の担当教員に提出してください。提出すれば、「遅刻」にはなりません。

● 学期の途中で受講をとりやめる場合は、必ずその授業の担当教員に報告してください。

各授業の出席・受講状況は、今後入国管理局でビザの延長審査を受けるときの重要な審査基準となります。

3-3

留学生研究発表会

1. 日本語日本文化研修留学生・協定留学生

日本語日本文化研修留学生、協定留学生は、留学期間の最後（8月または2月）に研究レポートを提出し、留学生研究発表会で発表をし、そのすべてを日本語で行います。この発表会は、留学生だけでなく、指導教員や日本の学生たちなど誰でも聴くことができます。また、地域でお世話になっている学外の方々もご招待しています。

毎年、独自の視点と専門性を兼ね備えた興味深い発表が行われています。提出したレポートは、「日本語日本文化研修留学生・協定留学生研修成果報告書」としてまとめられ、福岡教育大学のホームページから閲覧することができます（トップページ→国際交流・留学→日本語日本文化研修留学生・協定留学生研修成果報告書）。（<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/interchange/foreign/report>）

留学期間が始まることから、次のような順序で計画的に進めていってください。

- ①指導教員と話し合っ、研究の計画を立てる。
- ②留学生対象授業と、専門授業とで学んだことをふまえて、研究テーマを決める。
- ③指導教員の指導に従ってレポートを作成し、発表の準備をする。

2. 教員研修留学生・国費研究生

教員研修留学生、国費研究生は必須ではありませんが、留学期間の最後に、留学生生活を共に過ごしてきた日本語日本文化研修留学生、協定留学生たちと同じ場で研究発表をすることができます。この発表会は、発表者たちの視点が国際的であるというだけでなく、幅広い専門分野にまたがる学際的なものであるという点でも、大学で行われる研究・教育活動の中で、とても貴重なものの一つです。



3. 発表者以外の留学生

発表会場の準備のほか、発表会の司会をしたり、発表者に時間をはかって知らせたりして、発表会の手伝いをします。



発表する様子



日本人学生や地域のお客様からの質問・意見

研究発表会の様子を撮影したDVDがあります。発表会の様子を見てみたいひとは、連携推進課、留学生担当教員にたずねてください。

3-4 留学生への連絡

連携推進課から留学生のみなさんへの連絡は、主に下記の方法で行います。

- **留学生掲示板**：学生センターの下にあります。大学に来たときに1回、大学から帰るときに1回、確認してください。
- **留学生談話室**：学生会館の2階にある部屋です。
- **インターネットメール**：みなさんのメールアドレスにさまざまな連絡をすることがあります。内容について必ず確認してください。

3-5

学内施設の利用

1. 学術情報センター 情報システムの利用について

パソコン教室・研究室・留学生談話室・図書館マルチメディアラボでインターネットやメールを利用できます。ルールを守って利用してください。

〈大学で禁止されているインターネット利用方法〉

1. 音楽データ・映像データやパソコンのソフトウェアをインターネットから違法コピーしてはいけません。
2. 大学の電子メールを商売に使ってはいけません。
3. ほかの人の電子メールを使ってはいけません。
4. 大学のパソコン以外のパソコンを勝手に大学のネットワークにつないではいけません。
5. インターネット電話を利用してはいけません。

手続きやパソコン教室の利用についてわからないことがある場合は、学術情報センター情報システム窓口にご相談してください。

2. 学術情報センター 図書館の利用について

図書館では、図書や雑誌の閲覧や貸出、新聞の閲覧ができます。

国際交流コーナーでは、留学生向けに購入した日本語学習のテキストや日本文化を紹介した図書、辞典などの閲覧ができます。辞典類以外は貸出もできます。

入館するときには、入館カードが必要です。学部生・大学院生は学生証で入館してください。

〈開館時間〉

- ・月曜～金曜 8：30～21：30
(休業期は8：30～17：00)
- ・土曜、日曜、祝日 10：30～17：00

〈休館日〉

大学の休業期の土日祝日、夏季・冬季一斉休業期間、蔵書点検期間
(他にも臨時休館になることがあります。)

〈入館方法〉

学生証、図書館利用カードを使って入館します。



3. 「FreeSpot」 アクセスサービス

「FreeSpot」とは無線 LAN 機能を搭載したパソコン等（タブレット，スマートフォン）を接続して使うことができる公衆無線 LAN です。「★ FreeSpot の利用方法と手順」を守って利用して下さい。

★ FreeSpot の利用方法と手順

- ① 利用時間は 8：30～21：00（土日・祝日を含む）です。
- ② 利用料金は無料ですが、営利目的での利用はできません。
- ③ 利用の際に電源の提供はありませんので、大学の電源は利用できません。
- ④ 認証の際にメールアドレスと受信できる機器（環境）が必要です。（メールアドレスは不正使用の特定及び FreeSpot の利用統計に利用することがあります。）
- ⑤ 接続するパソコン等（タブレット，スマートフォン）の無線機能を ON にして、SSID を「FREESPOT」に設定し、ネットワーク設定を「IP アドレスを自動取得する」に変更します。
- ⑥ FreeSpot アクセスポイントより、IP アドレスが割り当てられます。
- ⑦ Web ブラウザを起動して、任意のサイトを閲覧します。しばらくすると、FreeSpot 認証ページが強制的に表示されて、利用者のメールアドレスを要求されますので、入力後送信ボタンをクリックします。（info@freespot.com からのメールを受信できるように迷惑メールフィルター等の設定を確認してください。）
- ⑧ しばらくすると、info@freespot.com からメールあてにパスワードが届くので、認証画面に入力し認証ボタンをクリックします。入力したパスワードが正しければ、接続したパソコン等（タブレット，スマートフォン）からインターネットへの接続が可能になります（ただし、一度の認証での有効期間は半年です）。

※ 「FreeSpot」は福岡教育大学が提供しているサービスではありません。

<http://www.freespot.com/>

★ 「FreeSpot」 アクセスポイントマップ

